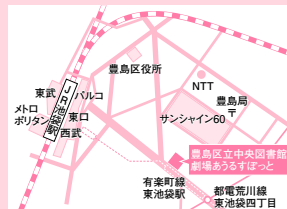




と しょ かん づう しん 書 館 通 信

第32号
季刊(春)
2014

発行 ● 豊島区立中央図書館
東京都豊島区東池袋四一五一一
ライズアリーナビル四階・五階 〒170-8442
電話 ● 03-3983-7861
FAX ● 03-3983-9904
ホームページ ● <http://www.library.toshima.tokyo.jp/>
発行日 ● 平成26年4月



トピックス

- 巻頭言 江戸東京博物館 館長 竹内 誠……………1ページ
徳川林政史研究所 所長
- 図書館と私 駒込図書館 図書館奉仕員 住吉 千尋……………2ページ
- 生涯の一冊 サンシャイン水族館 飼育員 先山 広輝……………2ページ
- 東京図書館制覇！ 竹内 庸子……………3ページ
- 図書館イベント情報・図書館カレンダー……………4ページ

「博物館の図書室」

江戸東京博物館の図書室は、博物館の付帯施設として一九九三年の開館と同時に開室した。名称は図書室ではあるが、所蔵図書は三三万点余にのぼり、江戸東京四〇〇〇年の歴史と文化に関する図書・逐次刊行物・マイクロフィルムなどを収集・公開する都市史の専門図書館である。

この図書室の役割は、主として①博物館の内部職員(学芸員など)への支援、②一般利用者への閲覧サービスとを両立させ、③図書資料を後世に伝えるべく保存・管理を行い、④江戸東京の歴史と文化に関する情報発信を行うこと

と、なっている。

こうした役割は、基本的には一般図書館と共通しているが、あえていえば①と④のなかに博物館図書室固有の特色を見出すことができる。

たとえば①であるが、学芸員の企画した特別展の開催期間中、図書室には特別展関連図書コーナーが設けられ、サービスの充実をはかっている。博物館の展示を観た後に図書室を訪れて、さらに知識を深めてもらうというのは、博物館図書室ならではの特徴である。

◆ 区外にお住まいの方へ ◆

いつも豊島区立図書館をご利用いただき、ありがとうございます。

さて、事前に館内掲示等でお知らせしてまいりましたが、今月から区外にお住まい

の方の予約資料の取扱いが一部変更になりました。予約できる資料は、豊島区立図書館で所蔵している資料のみにあります。豊島区立図書館で所蔵していない資料(新刊図書を含む)は、予約いただけません。ご希望の際は、お住まいの自治体の図書館をご利用ください。新刊図書は、豊島区立図書館で所蔵後に予約することができます。これは現在、各自治体における図書館サービスが充実してきたことや予約件数が増えたことから、限られた予算を有効に活用するため実施するものです。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

	区内に 所蔵している資料	区内に 所蔵していない 資料(新刊含む)
豊島区民の方	○	○
豊島区外の方	○	×

新航路【30】

さら④のなかに、江戸東京の歴史と文化に関するフランス活動がある。この際も司書と学芸員との共同作業が欠かせないが、例えば「江戸城の面積は?」「江戸の火事件数は?」「西郷隆盛の銅像が上野にある理由は?」「江戸三座の座紋は?」「勝海舟の身長は?」「江戸時代の男女の平均身長は?」といった質問に丁寧に答えている。

このフランス事例集の一部は、当館のホームページに掲載されたり、国立国会図書館主催のフランス協同データベースにも登録され、いずれも非常に多くの人々に利用されている。他館の図書室においても同様であるが、このように博物館の図書室は、多彩な活動をしており、博物館の運営上大きな役割を果たしている。

Current & Encounter

笠信太郎の 「もの」の見方について

評論家 粕谷 一希

笠信太郎の超ベストセラー『もの』の見方について』の中にある有名な文章で「イギリス人は歩きながら考える、ドイツ人は考えてから歩き出す、フランス人は感じてから歩き出す。」がある。

この時笠信太郎は朝日新聞の論説主幹であった。緒方竹虎は笠信太郎が軍部から睨まれることを心配してヨーロッパに出たという話がある。

緒方竹虎は人の話を聞くことの手先な対話の名人であったが、笠信太郎は戦争中中央公論社から『日本経済の再編成』というベストセラーを書いた。この本があまりにも売れて軍部から睨まれることを心配して緒方竹虎が笠信太郎をヨーロッパへ出したという話もある。

緒方竹虎も笠信太郎も若い頃から文章を書くのが上手で外から朝日に入った代表する二つの例である。笠信太郎のベストセラー『もの』の見方については文章表現が非常に解り易く、全部ひらがな文章で表現されていた。

一回目の執筆者は嵯山政道であったが、嵯山政道は東京のことをよく知り書いていてその話がとても面白く東京で評判であった。ただ、昔の人だけに文章全体に漢字が多かった。「もの」の見方についてと比較するとあまりにも違っているので、読者は嵯山さんの文章を「真つ黒だ」と言ったという有名な話がある。

笠信太郎は超ベストセラーをそこまで文章をややしくしく、そして自分の文章に自信がなかった時彼は大勢いる論説委員の文章を直し始めた。論説委員は自分の文章の直し方があまりにもうまいので、笠信太郎は論説主幹の資格がある、というひそひそ話を傍で耳聞きしたことがある。

論説委員の人達は自分の文章がいかに下手かに気が付いて笠信太郎を尊敬するようになった。

笠信太郎が突然しくなつたためその後を引き継いだ社内の森恭三氏が笠さんとくらべて文章がうまくなかったため社外ともに評判がよくなかったのである。

1999年 東京都生まれ。
東京教育大学大学院博士課程修了。専門は江戸時代の社会経済史・文化史に関する研究。
著書
「寛政改革の研究」(吉川弘文館)、「江戸と大阪」(小学館)、「元禄人間模様」(角川書店)、「江戸の盛り場」考(教育出版)、「江戸社会史の研究」(弘文堂)など多数。

生涯の一冊
(31)

書名：「日本の海水魚 3版」
(山溪カラー名鑑)
編・監修：岡村収、尼岡邦夫
写 真：大方洋二ほか
発行所：山と溪谷社
発行年：2002年4月



サンシャイン水族館
さきやま ひろき
飼育員 先山 広輝

サンシャイン水族館で主にクラゲや日本の清流水槽を担当し、展示や飼育をおこなっている。平成25年度豊島区立中央図書館特別講演会「水族館のひみつ」(3月29日実施)の講師を務めた。

『日本の海水魚』

子供の頃に読んだ本の記憶は深く残っていることが多いのでは無いでしょうか。小学生の頃授業で学んだ本や、幼少期に読み聞かされた絵本。この頃の本との出会いが、その後の人生に大きく関わってくることも多いように思います。

私とこの本との出会いは小学生の高学年のクリスマスでした。その当時、私は愛媛県の宇和島の実家で暮らしており、家の目の前は海、裏は山という自然に囲まれた田舎で生活していました。この頃の遊びといえば魚を釣ったり、魚やエビ等を網で採ったりと海での遊びが主

でした。そこで魚に興味を持った私に、親がクリスマスプレゼントとしてこの本をプレゼントしてくれました。カラーの水中写真が多く、変わった形や、色とりどりの海水魚が数多く掲載されているこの図鑑をわくわくしながら読みふけた覚えがあります。

魚には一部の地方で呼ばれる「地方名」というものがあります。愛媛の宇和島にも変わった地方名が多く、「ギンガリ(ネブツダイ)」「ヤハゲ(スズメダイ)」「ホゴ(カサ)」「と、皆さんが聞いてもこれが魚の名前?と首をかしげたくなるような名前ばかりです。この図鑑に

は一般的に呼ばれる「標準和名」の他に、様々な地方で呼ばれる変わった地方名も一緒に掲載されていて、それらを覚えては友達に自慢気に話したことをついこの間のこのように覚えています。

その他にも、図鑑にはそれぞれの魚の特徴や生活、体の各部の名前、魚類学の総論なども掲載されていて、これが今の知識の下積みとなり、魚に深く興味を持つきっかけにもなりました。その後、大学は水産学部に進み、運よく水族館の飼育員という職業にも就きました。この図鑑との出会いが無ければ、今頃別の道を進んでいたかもしれません。この図鑑は今でも現役で、展示の企画を考える時や、魚の生きた姿を参考にする時に活用しています。私にとっては一生涯の愛読書となりました。

図書館と私 19

駒込図書館 図書館奉仕員(司書)
住吉 千尋

「本を手渡す役割として」

私は、現在児童書の担当をしています。まだまだ未熟ながら、日々多くの仕事と格闘しています。司書になる以前は違う仕事をしていて、どんなことをするのかよく知らず、カウンターで本の貸出しをするくらいイメージしかありませんでした。実際働き始めてから、司書には様々な仕事があることに驚かされました。児童書の購入検討や、図書館の蔵書内容を考えることは勿論、小学校へ出かけてのブックトークや、保健所で赤ちゃんおはなし会のデモンストラーションをするなど、出張も多くあります。

今この原稿を書いている2月は、「よんでみよう」という、小学生向けのお薦め本を載せたパンフレット作成の最終段階に入っています。子ども達が夏休みの間に沢山好きな本にめぐりあって欲しいとの思いで、毎年夏休み前に豊島区の小学校に配っています。

パンフレット作りはまず、今まで長く愛されてきたロングセラー本や新刊本の中か

ら、掲載したい候補の本を選ぶことから始まります。選んだ候補の本は、時間をかけて全てを読んで吟味し、内容等全体のバランスを考えて掲載する本を決定します。本の紹介文も自分達で推敲を重ねて書いています。普段児童書は、出版される新刊本を読んでから買うかどうか検討しています。新刊本を読みながら、パンフレットに載せる候補本も読む期間は、それこそ朝から晩まで、職場や家で少しでも時間があれば本を読んでいる状況です。大変ではありますが、魅力ある児童書は大人にも読みごたえがあり、感銘を受けることを毎回実感しています。

皆さんも、豊島区の児童書担当者がほぼ一年を駆け思いを込めて作った「よんでみよう」のパンフレットを是非手に取って、リストにある本を楽しんでください。

私も微力ながら、皆さんに様々な本をお渡しする架け橋になる努力を続けていきたいと思っています。

～おたよりを募集します～

みなさんが読んだ本や図書館にまつわる
エピソードを募集します。
たくまのご応募をお待ちしております。

◆募集内容 ※400字程度

- 紹介したい本とその理由
(書名、著者名、出版社、出版年等もお書きください)
- 図書館にまつわるエピソード
- 本誌に対する感想、ご意見
(○○が面白かった、□□について取り上げてほしい) など

◆応募方法

- 封書またはメールにてご応募ください。
メールの場合は、タイトルに「図書館通信おたより係」とご記入ください。
- 氏名、年齢、住所、電話番号を明記してください。
- 匿名希望の方はペンネームをお書き添えください。
- スペースの都合上、趣旨を変えない範囲で原稿を加筆・修正させていただくことがあります。
- 掲載させていただいた方には粗品を進呈します。
- お送りいただいた原稿は返却できませんのでご了承ください。
- 採否に関するお問い合わせには応じられません。

【あて先】

〒170-8442
豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナビル5階
豊島区立中央図書館 図書館通信おたより係
E-Mail: A0027900@city.toshima.lg.jp



東京図書館制覇 図書館通信

http://www.....

東京図書館制覇!

新連載

人気ウェブサイト「東京図書館制覇!」管理人の竹内庸子さんに、図書館の魅力を紹介していただきます。

第1回

「図書館巡りをはじめたきっかけ」

「東京図書館制覇!」管理人 竹内 庸子

私は趣味で図書館巡りをしており、これまでに東京23区の公立図書館は全て訪れ、その様子を「東京図書館制覇!」というサイトにまとめて発信しています。これから4回にわたって、図書館巡りを始めたきっかけや図書館の面白さをご紹介いたします。

図書館巡りをしているということ、人並み外れた図書館好きと思われることが多いのですが、意識的に図書館巡りをはじめたのは、もっぱら自宅の最寄り図書館を利用する程度でした。そんな私が図書館巡りをはじめたきっかけはブログです。およそ10年前、ブログが一般的に広まった時期に、私もやってみようというブログを開設したのですが、単なる日記では面白くない。せっかくなら何かテーマを決めようと思ったときに、図書館のこと

が頭に浮かんだのです。豊島区立図書館もその一つですが、在住者でなくとも利用登録できる図書館があるということは知っていたので、これを機会にいろいろな図書館を利用してみよう。軽い気持ちで「東京図書館制覇!」という名前で活動を始めてから、あらためて図書館の数を数えてみたら23区だけでも200館以上あり、すごい大きなことを初めてしまったと驚きました。

そんな気楽な思いいつかから始めたことが今も続いているのは、図書館巡りが当初の予想以上に面白かったからです。以前、世界各地の鉄道の車窓風景を放送する長寿テレビ番組「世界の車窓から」の制作者を取材した雑誌記事を読んだことがあり、そこには「鉄道は世界の共通言語で、説明を入れなくても自然とわかる。それでいて、その国の歴史、文化などが詰まっております。鉄道をみるだけでその国のいろいろなことがわかる」とありました。図書館もまさに同じで、基本的な仕組みはこの図書館も共通ですが、来館者層や蔵書の傾向などにその土地柄が表れている。図書館巡りを通じて小旅行のような気分が味わえるのです。

また逆に、いろいろな図書館を回ることで自分の最寄り図書館の特徴も見えてきました。自分にとって「図書館はこういうものだ」と思っていたことが、必ずしも一般的だとは限らないことに気付いたのです。たとえば、図書館の分類はとも同じだと思いがちですが、実際には絵本の並べ方一つをとっても絵を描いている作家で整理する方法、おなじみの作者で整理する方法、絵本のタイトルで整理する方法、出版社で分類する方法など、実にさまざまな方法が採用されています。

最も衝撃を受けたのは、江戸川区のある図書館の日本小説の棚を見たときです。「阿

の棚に阿川弘之、阿刀田高、「赤」のところ

に赤川次郎、赤坂真理」といったかたちで、著者名の頭文字となる漢字で整理されていたのです。探しやすいとしては難もあり、そうした声が多かったのか、現在では著者名五十音順の並べ方に変わっているのですが、初めて見たときは、こんなユニークな整理方法を思いつく図書館があるのかと驚きました。

そつした図書館の多様性に加えて、ここ最近では図書館が大きく変わりつつある時期でもあり、図書館巡りを通じてその過程を見るのも興味深いです。

豊島区立図書館では平成19年に初めて登場した自動貸出機は、他の自治体にも普及しており、今では23区のうち13区で導入されています。書庫からの資料請求を自動化している図書館もあり、見字イベントで自動書庫内の様子を見たときには、本が入ったボックスが書庫内を素早く走りぬげる様子にびっくりしました。

そつした自動化が進む一方、バリアフリー面にも配慮した居心地のいい図書館が増え、本と出合えるイベントや利用者参加・地域交流に踏み込んだ企画も年々増えています。読者の皆さんの中には、先の年末年始に目黒図書館・駒込図書館・上池袋図書館で実施された「本の福袋」を借りた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。本がたくさん読める場所から、本と人を繋げる場・人と人を繋げる場へと図書館が発展する時期に居合わせているということは、とても刺激的な体験で、これこそが現在も私が図書館巡りを続けている理由です。



泡坂妻夫特集 開催中

豊島区に長くお住まいになり、直木賞作家であった小説家泡坂妻夫さん(あわさか つまお、1933年5月9日-2009年2月3日)。東京・神田で「松葉屋」の屋号を持つ紋章上絵師の家に生まれ、会社勤めを経て家業を継ぎ絵師となった。また奇術愛好家兼奇術師としても有名であった。そんな泡坂さんの直筆原稿や思い出深い品々を展示するとともに泡坂さんの著作を特集展示しています。

期 間 平成26年3月29日～6月15日まで
展 示 場 中央図書館5階



図書館イベント情報

◆児童・あかちゃんおはなし会

毎週、本の読み聞かせなどのイベントを行っています。遊びに来てください。

「子ども読書の日」記念スペシャルおはなし会のご案内




4月23日は「子ども読書の日」です。各図書館では、この日を記念して、子どもたちが図書館に親しみ本を読む楽しさにふれられるように、スペシャルおはなし会を行います。詳細は、各図書館へお問い合わせください。

★「子ども読書の日」とは★

「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、「国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため(同法第10条)」に4月23日が子ども読書の日に定められました。

各図書館の連絡先

- 中央図書館 3983-7861
- 駒込図書館 3940-5751
- 巣鴨図書館 3910-3608
- 上池袋図書館 3940-1779
- 池袋図書館 3985-7981
- 目白図書館 3950-7121
- 千早図書館 3955-8361
- 雑司が谷図書貸出コーナー 3590-1335

主催/会場	おはなし会開催日		子ども読書の日スペシャルおはなし会(4月)		スペシャルイベント	
	幼児・小学生	あかちゃん	開催場所・日時	内容	5月	6月
中央図書館 児童コーナー (※印は会議室)	日曜日 午後2時 (6/22はお休み)	最終日曜日 午前11時	4月20日(日) 午後2時~ 児童コーナー	絵本の読み聞かせ、 パネルシアターなど	★4日・おはなしこうさくかい 午後2時 ★25日・ボランティアによるおはなし会 午後2時(池袋親子読書会)	★1日・おはなしこうさくかい 午後2時
駒込図書館 (駒込地域文化創造館)	土曜日 午後3時 (5/24はお休み)	第1水曜日 午前11時 (5月は14日に実施)	4月19日(土) 午後3時~ 駒込地域文化創造館	ビッグブックの 読み聞かせ、紙芝居など		
巣鴨図書館 地下会議室	大規模改修工事のため、現在休館中です。					
上池袋図書館 おはなしのへや (※印は 地下ホール)	水曜日 午後3時 (5/7,6/4はお休み)	最終水曜日 午前11時※	4月23日(水) 午後3時~ 地下ホール※	絵本の読み聞かせ、 手遊び、パネルシアター など	★28日・さくらんぼえいがかい 午後3時※	
池袋図書館 ワークルーム	土曜日 午後2時30分 (5/31はお休み)	第1水曜日 午前11時 (5月は14日に実施)	4月26日(土) 午後2時30分~ ワークルーム	詩人木坂涼さんによる 著作を中心とした 絵本の読み聞かせなど	★3日・たんぼぼこうさくかいスペシャル 午後2時30分「楽しいおもちゃ作り」 ★24日・たんぼぼえいがかい 午後2時30分 「ゴマちゃんの交通安全」(15分)	★28日・たんぼぼえいがかい 午後2時30分 「くまの子ウーフ」(18分)
目白図書館 地下区民集会室	水曜日 午後3時 (6/11はお休み)	第1水曜日 午前11時	4月23日(水) 午後3時~ 地下区民集会室	絵本・ビッグブックの 読み聞かせ・ペープサート など	★28日・かきくこうさくかい 午後3時	★25日・めじろシアター 午後3時
千早図書館 視聴覚室	水曜日 午後3時30分 (5/14はお休み)	水曜日 午前10時30分 (5/14はお休み)	4月23日(水) 午後3時30分~ 視聴覚室	絵本の読み聞かせ・紙芝 居・手あそびなど	毎週水曜日に2回(午前・午後)、おはなし会を開催しています。	

日程・会場等が変更になることがあります。事前にお問合せください。

図書館からのお知らせ

「区民読書活動実態調査」を実施します

豊島区立図書館は、「豊島区子ども読書活動推進計画(第二次)」の効果を検証し、次期計画(第三次)策定の基礎資料とするため、区民の方を対象に下記の通り調査を行います。

ご理解、ご協力のほど、よろしくお願致します。

調査の目的

区民の読書に関する意識や図書館の利用状況等、図書館運営への要望を把握し、今後の利用促進や図書館経営の基礎資料とする。

調査対象

一般区民

対象者数及び抽出方法

原則として、豊島区民2,500人程度

調査方法

対象者へ調査票を郵送。同封の返信用封筒で中央図書館へ返送。

調査内容

- (1) 調査項目数 25問程度
- (2) 質問形式 選択肢形式+一部自由回答
- (3) 質問内容 読書傾向、区立図書館の利用状況など

調査スケジュール

- 26年6月下旬 調査票発送
- 26年7月中旬 調査票回答期限
- 27年2月下旬 調査報告書結果まとめ



○千早図書館友の会主催○

「千早進歩自由夢月例会」

※5月例会は往復はがきによる事前申込制。6月例会は申込不要です。

◆千早進歩自由夢(5月例会)

史跡散歩「大正大学を訪ねる」

日程 5月16日(金)
集合場所 12時30分 東京メトロ有楽町線、副都心線・千川駅 改札口集合

または 13時30分 大正大学正門前集合
大正大学の図書館内と礼拝堂を見学します。
また、昨年新たにオープンしたパワースポットとして話題になっている「すかも鶴台観音堂(通称:鶴台さざえ堂)」も見学します。
見学の際には、職員の家内がつきます。
※交通費・傷害保険代は自己負担です。

定員 制限なし(但し、傷害保険加入のため参加者名簿を作成する必要がありますので、往復はがきによる事前申込制とします)

費用 傷害保険料 一人50円(現地支払い)
申込方法 往復はがきで、下の囲み欄を参照して必要事項を記入してください。

締切は5月2日(金) <必着>
参加の可否については、5月9日(金)前後に返信はがきにてお知らせいたします。

○往復はがきの記入方法○

往復はがきの往信裏面にイベント名を大きく記入の上、「住所・氏名・年齢・電話番号・集合場所(千川駅または大正大学正門前)」を記入して、下記送付先までお送りください。

〒171-0044 豊島区千早2-44-2 豊島区立千早図書館

◆千早進歩自由夢(6月例会)

講演会

「風土と唄 -長崎村からスペイン・アンダルシアまで-」

日時 6月14日(土)
10時から12時(開場:9時30分)

会場 千早図書館 2階 視聴覚室

講演 長尾景友氏(フラメンコギター奏者)

内容 世界中のどんな地域にも、生活の傍らには唄がありました。私たちの暮らす豊島区の旧長崎村にも、田植唄や麦打り唄といった古謡が残っています。世界を放して発見した「風土が生み出した唄」をご紹介(フラメンコギターや長崎村の唄の実演含む)しながら、地域の暮らしを考えてみたいと思います。

定員 50名(先着順)

●特別整理休館のお知らせ●

下記の日程で休館になります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

- 千早図書館 5月14日(水)~5月18日(日)
- 駒込図書館 5月21日(水)~5月25日(日)
- 池袋図書館 5月28日(水)~6月1日(日)
- 上池袋図書館 6月4日(水)~6月8日(日)
- 目白図書館 6月11日(水)~6月14日(土)
- 中央図書館 6月16日(月)~6月23日(月)
- 雑司が谷図書貸出コーナー 6月16日(月)~6月23日(月)

今号から「図書館通信」を担当することになった狩野です。皆さまに親しまれる紙面づくりに頑張ります!どうぞ、よろしくお願いたします。

編集後記

○は土曜の閉館日は休館日

- 4月 1 2 3 4 ⑤
⑥ 7 8 9 10 11 12
⑬ 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30
- 5月 ④ ⑤ ⑥ 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30 ①
- 6月 ① 2 3 4 5 6 ⑦
⑧ 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30

※ 巣鴨図書館は、施設の老朽化に伴う大規模工事のため、現在休館中です。休館期間:平成26年2月3日~平成27年3月(予定) 皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願い致します。

図書館カレンダー